

切除・植皮・リンパ節生検(頭)を受けられる患者さまへ

患者氏名:

受け持ち医師:

受け持ち看護師:

患者様用

項目	月日 入院～手術前日	手術当日	手術後1日目	2日目～6日目	7日目	8日目～退院まで
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 疾患について理解できる。 手術に対して理解できないことや不安なことを医療者に相談することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> <手術前> 手術に向けて心身の準備が整っている。 <手術後> 疼痛が緩和されている。 血圧や呼吸状態が安定している。 創傷部からの異常出血がない。 	<ul style="list-style-type: none"> 術後合併症がなく経過することができる。 手術後の経過で理解できないことや不安なことを表出できる。 創傷部の安静を保つことができる。 感染兆候なく経過することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 術後合併症がなく経過することができる。 手術後の経過で理解できないことや不安なことを表出できる。 創傷部の安静を保つことができる。 感染兆候なく経過することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 創傷部の安静を保つことができる。 感染兆候なく経過することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 異常を自覚した場合の対処法が言える。 退院に向けて創部の処置を自己で行える。
治療・薬剤(点滴・内服)・処置・リハビリ	<ul style="list-style-type: none"> <入院日> 内服中のお薬や使用されている軟膏は看護師へお渡しください。(お薬を継続するか、医師に確認後に患者さまへお伝えします) 入院中のお薬の管理の方法は患者さまとご相談の上決めさせていただきます。 <手術前日まで> 夜9時に下剤を服用して頂きます。(医師の指示により変更となる場合もあります) 手術前日より現在内服しているお薬をお預かり・管理させていただきます。 患部を圧迫をしないように体位が制限されることがあります。そのため体位の練習をすることがあります。(背中が手術創部であれば医師の許可があるまでうつ伏せで寝ることになることもあります。) 	<ul style="list-style-type: none"> <手術前> 6時に血圧測定、浣腸をします。 毎日服用されているお薬は医師の指示に従い服用して頂きます。 手術着(緑の術衣)を着替えます。(下着は全てお取りください) 弾性ストッキングをはきます。(手術する側の足は履きません) コンタクトレンズ、めがね、入れ歯、アクセサリを外してください 点滴を行います。(8時から手術の場合は手術室で行います。) 医師、看護師と一緒に手術室(3階)まで歩いていきます。(介助が必要な方は車椅子又はストレッチャーで搬送いたします) <手術後> 普段から内服されているお薬は医師の指示に従い服用していただきます。 翌朝まで持続点滴となります。点滴から抗生剤を投与します。 足に深部静脈血栓症予防のためのフットポンプを使用することがあります。 麻酔からしっかり目が覚めるまで酸素吸入を行うことがあります。 傷口には管入ってくる場合があります。 	<ul style="list-style-type: none"> 創部の診察(ガーゼの交換)があります。 痛みが強い時は鎮痛剤の注射、または内服薬を使用します。 抗生剤の点滴をします。 傷に入っている管(ドレーン)を抜きます。 	<ul style="list-style-type: none"> 創部の診察(ガーゼの交換)があります。 食事摂取状況を見て点滴を抜きます。 背中から痛み止めが入っている場合は、痛みの状況にあわせて医師が抜きます。 抗生剤の点滴をします。 	<ul style="list-style-type: none"> 皮膚を移植した部分の傷を開け、チェックし消毒を行います。 創部の診察(ガーゼの交換)があります。 医師の指示があるまで、抗生剤の点滴をします。 	<ul style="list-style-type: none"> 傷の状態を確認します。
検査	<ul style="list-style-type: none"> 採血 ・肺機能検査 ・心電図 胸部レントゲン ・リンパシンテグラフィー 					
活動・安静度	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。 	<ul style="list-style-type: none"> <手術前> 手術搬入時間まで病室でお過ごしください。 <手術後> ベッド上安静となります。 手術した側を下にした横向きはできないこともあります。医師の指示により少しずつ体を起こしていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 指示があるまでベッド上安静となります。ベッド上安静の間は弾性ストッキングは着用のままになります。 医師の許可が得たら、歩行可となります。 体位は手術部位により(後頭部)圧迫を避けるため、腹臥位(腹ばい)、側臥位(横向き)になります。 			
食事	<ul style="list-style-type: none"> 夕食までは食べて頂き、その後は麻酔科の医師の指示に従ってください。 	<ul style="list-style-type: none"> <手術前> 絶食となります。 <手術後> お腹が動き始めたら、飲水・食事が行えます。(指示があるまでお控え下さい) 術後当日は食べれない場合もあります。 	<ul style="list-style-type: none"> 普通食(*痛みがあつて食べにくい場合は食事の形態を変更することが出来ます) 			
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 通常通り入浴を行ってください。(除毛の必要な方は除毛後に入浴してください) 手術後はしばらく入浴できませんので洗髪も行って下さい。 爪を短く切り、マニキュアは落としましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術前に希望があれば朝早くシャワー浴を行えます。 	<ul style="list-style-type: none"> 体拭きを看護師と一緒にいきます。 			<ul style="list-style-type: none"> 医師の許可が出たらシャワー浴ができます。
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。 	<ul style="list-style-type: none"> <手術前> 手術室に入る10分前に排尿をお済ませください。 <手術後> 手術中に尿を出すための管が入ります。 排便はベッド上になるので看護師をお呼びください。 	<ul style="list-style-type: none"> 医師の許可が出たら尿の管を抜き、トイレにて排泄となります。 			
患者様及びご家族への説明・栄養指導・服薬指導	<ul style="list-style-type: none"> 入院日に担当の看護師が、体の状態やご自宅での様子についてお話を伺わせていただきます。 手術の説明を看護師が行います。(詳しくは入院生活のしおり:手術を受けられる患者様へをご確認ください) 医師から本人・ご家族への手術の説明があります。 麻酔科医師の診察・説明があります。 手術室看護師から説明があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ご家族は、食堂または病室でお待ち下さい。 病棟を離れる場合は、ナースステーションまで声を掛けてください。 手術終了後、医師から家族に説明があります。 痛みがある場合は我慢せずにお申し出ください。鎮痛剤を投与します。 体に管がついている場合があります。誤って抜いてしまわないように体を動かす際は ナースコールでお知らせください。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術した部位をぶついたり、こすったりしないように注意しましょう。 手術した所は激しく動かしたりすることで傷が開くことがありますので、医師の指示があるまで安静を保ちましょう。 歩行許可が出て1～2日は看護師と一緒に歩行しますのでナースコールでお知らせ下さい。 			<ul style="list-style-type: none"> 医師より今後の外来受診や治療予定について説明があります。 看護師より退院指導があります。(術後の日常生活の注意点、創部の処置の方法など) 退院後の内服薬や軟膏は「退院時処方」として処方があります。入院費の会計時に「薬剤引き換え伝票」をもらいますので、当院の薬剤部でお薬を受け取ってください。 退院時に必要なお薬は早めに医師や看護師へお伝え下さい。 原則10時退院です。

この経過表は入院から退院までのおおよその経過をお知らせするものです。諸処の理由で経過通りにいかない場合もありますことをご了承ください。

宮崎大学医学部附属病院 平成22年12月作成